

土木会通信

第12号 平成29年3月1日

祝 瑞宝中授章 叙勲

篠原 紀 名誉教授が平成27年秋の瑞宝中授章を叙勲されました。平成28年7月2日(土)には、研究室(水紀会)総会と授賞記念式典が開催されました。

篠原名誉教授に近況をお書き願いました。



篠原 紀 名誉教授

土木会の皆様お元気になっておられますか？

私は平成17年(2005年)3月に近畿大学理工学部土木工学科を退職いたしまして、同年4月に名誉教授の称号を授与されました者です。私が退職した年に卒業された方々が土木工学科の最後の卒業生になりますので、平成20年卒業迄の方々は、ひょっとしたら私を知って居られるかもしれません。

私が近大に26歳で講師で着任した時の土木の先生方は皆亡くなくなりました。中野先生は退職され名誉教授になられた年の夏に亡くなくなりました。玉井先生は今年亡くなくなりました。

平成27年秋には瑞宝中授章を叙勲して、今年の7月に卒業生に盛大にお祝いして頂き大変感激いたしました。この叙勲は土木工学科で勤務して近大から推薦いただいたのは、私が初めてです。これからは次々に授章されると思います。

私が退職して12年近くなりますが、私が退職した時は68歳が定年の年齢でしたので間もなく80歳です。しかし、今の所元気にしています。今年の9月には一度行ってみたいと思って居たアメリカ大陸6900Km横断バスツアー2週間に参加して広大な大陸を体で感じる事が出来ました。ロスアンジェルスからニューヨークまでですが今ニュースになっているトランプタワーも警備員が一人ぐらいでした。これからどんなアメリカに代わるのでしょうか。21州をざっと見ただけですが、今改めてアメリカの歴史やトランプ本を読んでいます。戦後72年仲良くしてきた国ですから。

私は古墳の街で、大阪や奈良市内や京都に近く、しかも田舎の美しさに囲まれた奈良県平群町で暮らしています。土地や家が安いので、どうぞよかったら住んでみて下さい。ここに私は43年ほど暮らしています。良い所ですよ。

2016年(平成28年)12月3日



式典の様子(水紀会の皆様)

中野 担 先生が亡くなられてから初めての

『中野会』を開催しました

近畿大学土木会 会長 野田 文久(昭和55年)

平成12年8月に中野 担 先生が逝去されてから、活動を休止していた『中野会』を8月11日に開催しました。

今年5月、幹事の思いつきから、先生の17回忌となる8月に開催をすることを決めましたが、長期間活動をしていなかったため、会員の方々の連絡先も全く整理されておらず、土木会にお願いして、土木会名簿の中から抽出した中野会の会員の連絡先を提供いただき、6月に中野会会員の皆様に案内を発送するという日程となってしまいました。従いまして、連絡先不明のため案内が出来なかった会員の方々には謹んでお詫びを申し上げます。

中野会当日には、昭和42年3月卒業生から平成9年3月卒業生の計40名の方々に集まっていただき、中野先生を偲んで学生時代の思い出話に花を咲かせることが出来ました。また、東山教授にも来賓としてご隣席いただき、近畿大学の現況についてお話を頂きました。

次回『中野会』を2年後に開催することを目標に、中野会会員への周知期間を長くし、今回は、突然の開催のために予定が合わなかった方々にも参加していただけるようにしたいと思っております。

なお、中野ゼミ卒業の方で、今回案内が届かなかった方におかれましては、「土木会」に連絡を頂けましたら次回開催時には案内をさせていただきます。また、中野ゼミ卒業以外の方でも、中野会にご賛同いただき、参加をご希望の方は、「土木会」までお問い合わせ下されば、案内をさせていただきますので、よろしくお願い致します。



『中野会』の様子



中野ゼミ卒業生の皆様

材料にとっての「見える化」

麓 隆行 准教授

2006年4月に赴任して約10年となりました。私の専門は建設材料学や環境材料学です。コンクリートの基本的な性状に及ぼす素材の影響などの研究を行っています。卒業研究を通じて、コンクリートの基本的な性質を学ぶことができます。近年は、より深く理解するために分析手法も重要です。SEM、XRDやTG-DTAといった化学分析だけでなく、非破壊試験による「見える化」も話題です。

私もコンクリート試験用に改良したX線CT装置開発し、研究を行っています。X線CT画像といえば、人の病状診断に使用する3次元断層画像が有名です。病気が見つかるだけでなく、ドラマでは事件解決にも利用されています。

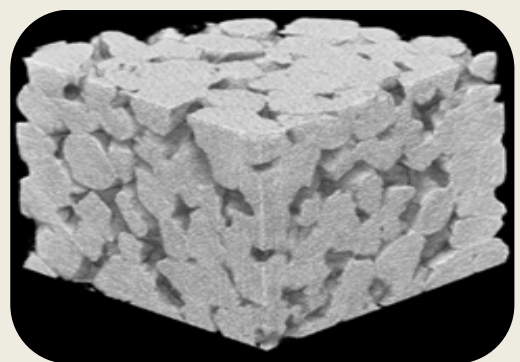
コンクリートに適用した場合も、3次元画像解析ソフトを用いれば、供試体内部の特定の物質の形状、位置、連続性などを計測できます。これを用いて、例えば、ポーラスコンクリート内部の複雑な空隙の連結性を調べ、水が流れる経路の長さや大きさを計測したい。圧縮強度試験中のコンクリート内部で局所的な変形を計測し、骨材の役割を改めて見直したい。アルカリ骨材反応などの劣化によるひび割れが発生、進展する過程を明らかにしたい。そんなことを考えています。

今年の4年生は5人。それぞれが異なる内容を、X線CT装置を用いて明らかにしようとして取り組んでいます。スマホ時代の学生だからでしょうか、計測方法の詳細はわからなくても、CT撮影も画像解析ソフトもどんどん使用しています。ただ、計測結果をどのように解釈するかが重要なのは、いつの時代も同じです。

X線CTなどの詳細な調査は、いつでも利用する装置ではありません。でも、時には詳細な情報から、病気の原因を知ることやその治療手法を考えることは、皆さんの人生を少しでも長くするためには重要です。材料の詳細な性質を明らかにすることは、いつか皆さんの生活を長く守るために重要になるのではないかと考えています。そして、そのような装置に触れることが、学生の卒業後の想像力や理解力に繋がればと願っています。



X線CT装置と麓先生



ポーラスコンクリートのCT画像



常任・年度幹事会開催

平成 28 年 10 月 1 日(土)午後 4 時～午後 4 時 30 分
近畿大学 31 号館 603 教室において近畿大学土木会
常任・年度幹事会が開催されました。

キャリア支援講演会

平成 28 年 10 月 1 日(土) 12 の団体・企業から卒業生
にお越し願ひキャリア支援講演会を開催いたしました。
学生出席者は 33 名で、卒業生の自己紹介、勤務先紹介
の後、熱心に学生からの質問に答えて下さいました。



交流会

キャリア支援講演会後、11 月ホール地下「Cafeteria November」
にて開催されました。

参加人数は卒業生 41 名、現職・退職された先生 9 名、学生 23 名
計 73 名で、今回は例年以上に活気ある交流会となりました。

見学会

平成 28 年 10 月 15 日(土)学科と協同で大阪市都市計画事業の阪急電
鉄京都線・千里連続立体交差事業の現場の見学会を行いました。施工業
者である(株)奥村組・(株)銭高組の方々現場説明をして頂き、学生 15 名、
卒業生 3 名、教員 2 名が参加しました。



【訃報】

平成 28 年 4 月 25 日 玉井元治元教授 (享年 78 歳)

平成 28 年 12 月 10 日 水野俊一名誉教授(享年 93 歳)

両先生におかれましては、学科のみならず近畿大学土木
会にも多大なご貢献をして下さいました。ここに両先生に
感謝いたしますとともにご冥福をお祈りいたします。

【編集後記】2017 年(平成 29 年)も早 2 か月が過ぎ、4
月には新年度を迎えることとなります。

本格的な春まで後少し、お風邪など引かれませぬよ
うにお身体を大切になさって下さい。

近畿大学土木会:〒581-0811 八尾市新家町 8-23-1
TEL06-6730-5880 内線 4654

e-mail:dobokkai@civileng.kindai.ac.jp